

⑤【江刺市街地エリアプロジェクト】市街地エリア開発基本計画の策定について（担当：羅針盤プロジェクト室）

令和7年3月に江刺市街地エリア開発整備構想を策定しました。策定に当たっては、関係団体のヒアリング、市民とのワークショップ、事業者のサウンディングなどを行い、公民連携によるエリア開発の可能性を調査してきました。その中で開発対象エリアとしては、江刺総合支所周辺の市有地を設定し、用途廃止する公共施設を取り壊して開発を目指してまいります。

構想では、開発コンセプトとその実現に必要な5つの場所を示し、必要な機能として休憩、利便、娯楽、スポーツ・健康増進、子育て支援、文化、情報発信、産業振興、宿泊、ビジネス及び交通結節を挙げています。

施設は、公共機能と民間機能を想定し、「文化を軸に、地域住民の多世代交流が実現するエリア」と「賑わいに加え、新たなビジネスチャンスを生み出しつつ飲食を楽しめるエリア」にゾーニングし、江刺市街地全体と水沢江刺駅とのハブ機能を発揮できるよう、今後検討してまいります。

今年度からは、基本計画に着手しますので、当構想に基づく個別具体的な事業等については、関係団体、事業者、市民等と連携・協議を進め、投資効果等も勘案しながら、その策定に向けて取り組んでまいります。

●実現イメージ(右図)

※今後の検討で変更
する場合があります。



●開発コンセプト

“踊るように暮らす”ふらっと寄りたくなる居場所(仮)

■開発コンセプト実現に必要な5つの場所

- 1 多様な世代が集まり、憩える場所
- 2 様々なバックグラウンドの人と出会い、楽しみのある場所
- 3 安心して子どもを育て、いきいきと学び、遊べる場所
- 4 地域の魅力や文化を紡ぎ・発信し、産業を育む場所
- 5 周辺エリアをつなぎ、滞在できる場所

⑥【小さな拠点づくりプロジェクト】旧伊手小学校活用に向けた取り組み

（担当：地域づくり推進課）

旧伊手小学校複合施設改修工事の設計業務が、3月に完了しました。

また、拠点整備事業に活用するため国に申請していた「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」（内閣府）が、令和7年3月31日に交付決定しました。

なお、複合施設（2階）の管理運営団体となる伊手のまちづくり法人「（一社）いであい」が、令和7年2月10日に設立されています。

令和7年度は旧伊手小学校の改修工事を進めながら、伊手地区センターの移転や複合施設の事業展開に向けて、市と地域とで協議を重ねていきます。

【複合施設イメージ（2階）】

